

# 施策評価調書

整理番号 **33**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	VI うるおい安全都市
施策名	⑤ 地域交通の確保

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	新井 清宏
市民部	木村 嘉充

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
なし				

2 施策目的(何を対象にどのような状態にしたいのか・どのような状態に持っていきたいのか)

No.	施策目的	関連する施策方針
1	鉄道やバスなどの公共交通機関を維持確保し、身近な移動手段として定着させることにより、市民の移動手段の確保を図る。	1 バス交通の低額運賃運行の継続と地域活性化への活用 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進 3 地域公共交通のネットワークの強化
2	「分かりやすく使いやすい公共交通」の更なる充実を図り、交流人口を増加させることにより、地域の活性化を目指す。	1 バス交通の低額運賃運行の継続と地域活性化への活用 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進 3 地域公共交通のネットワークの強化
3	市への来訪者及び地域住民に対し、自動車での市内移動に関して便宜を図るとともに、道路駐車を防ぐことにより道路機能を確保するなど、市内における交通秩序の保持を目指す。	関連する施策方針なし

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		H23年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	北近畿タンゴ鉄道の利用を促進します	京丹後市内7駅乗降客数	55.1万人	H16	40.4万人	H20	40.6万人	H23	41万人	H26
	市民が使いやすい路線バスを運行します	路線バス利用者数	16万人	H16	30.3万人	H20	36.7万人	H23	32万人	H26
	交通空白地域の解消を図ります	交通空白地域人口	新規	-	7,500人	H20	5,500人	H23	5,700人	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		H23年度実績値 (現状)		目標	
				年度	年度	年度	年度		
	なし								

4 評価結果一覧

**DO**

**CHECK**

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業評価結果							施策評価結果			
			H23決算額	H24予算額(一般財源)	根拠法令	単独事業	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値 説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性	
1 バス交通の低額運賃運行の継続と地域活性化への活用	1 地方バス路線運行維持対策事業	企画政策課	74,937	85,331(78,731)	国規定	含む	府・一部	サービス	法人	補	4	民間補完福祉増進	1,2	S	現状維持
	バス路線運行維持のため、運行事業者に対し財政支援														
2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進	2 市営バス運行事業	企画政策課	20,663	21,310(10,210)	国規定	含む	府・一部	サービス	市民	直・委	4	民間補完福祉増進	1,2	A	現状維持
	生活交通路線市営バスの運行(乗車人員18,799人)														
3 地域公共交通のネットワークの強化	1 北近畿タンゴ鉄道利用促進対策事業	企画政策課	123,972	122,934(122,934)	市規定	含む	単費	維持管理	法人	直・補・負	4	民間補完福祉増進	1,2	S	現状維持
	北近畿タンゴ鉄道への財政支援及び利用促進事業の実施														
2 駅舎等施設管理事業	2 駅舎等施設管理事業	企画政策課	37,707	41,671(32,773)	市規定	含む	単費	維持管理	市民	直・委	4	民間補完福祉増進	1,2	A	縮小
	市内7駅の維持管理・乗車券類等の販売(市内各駅利用状況:406,548人)														
1 コウトリ但馬空港利用促進事業	1 コウトリ但馬空港利用促進事業	企画政策課	530	700(700)	市規定	含む	単費	サービス	市民	補	1	該当なし	2	A	縮小
	コウトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの航空利用者に対する運賃助成(助成数183人)														
2 交通確保対策一般経費	2 交通確保対策一般経費	企画政策課	315	443(435)	なし	含む	単費	サービス	市民	直	4	民間補完福祉増進	1,2	A	現状維持
	KTR運行時刻早見表の作成、公共交通関係業務に関する事務経費等														
施策方針への位置付けが困難な事業	1 市営駐車場管理事業	市民協働課	1,981	2,003(2,003)	市規定	含む	単費	維持管理	市民	直	7	生活維持確保	3	S	統合(整理)
	市営駐車場の維持管理(11か所)														
		計	260,105	274,392(247,786)											

5. 今後の施策展開について

**ACTION**

財源が減少していく中で、効率的・効果的に施策を推進するために、どのように施策展開を図っていくのか	No.	歳出抑制の考え方	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	市内各駅の駅舎機能の在り方も含め、効率的・効果的な運営に向け、管理形態を見直すことで、歳出の抑制を図る。	
2	民有地を借り受けて設置している市営駐車場について、個々の利用状況や地元区の意向を十分に調査し、廃止も視野に入れた在り方について方針を決定する。		

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	01バス運行対策事業			
細事業名	01 地方バス路線運行維持対策事業					決算書	P.98
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	⑤ 地域交通の確保		
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)		執行率	
74,937千円		74,969千円		32千円		99.9%	
目的	生活交通路線の確保対策の一環として、国の制度に基づき生活交通路線バスの運行維持を支援する。						
主要な事務・事業及び成果の概要	バス路線の運行維持を図るため、運行事業者に対し、財政支援を行った。 運賃上限200円バスの導入後、路線バスの利用者は年々増加しており、生活に身近なバス交通として定着している。						
	○市町村運行確保生活路線バス路線維持費補助金 6,505千円 自主運行路線である弥栄網野砂丘線（弥栄分校前～平田口）の運行に対する補助						
	○地方バス路線運行維持対策補助金 68,432千円 丹海バス路線の運行に対する補助 (単位：km、便、千円)						
	系統名	起点	経由地	終点	市内距離	便数	補助金額
	経ヶ岬線	上宮津	与謝の海病院	経ヶ岬	1.6	8	168
	峰山線	上宮津	岩滝	峰山駅前	13.0	17	7,342
	間人線	峰山	溝谷	間人	19.3	20	14,883
	海岸線	峰山駅前	小浜・間人	経ヶ岬	36.7	15	16,886
	海岸線2	峰山駅前	島津・間人	経ヶ岬	37.6	1	1,713
	海岸線5	網野高校前	三津	間人	9.8	1	335
	間人循環線	峰山	間人・小浜	峰山駅前	39.6	4	2,033
	間人循環線2	峰山	間人・島津	峰山駅前	40.5	4	3,554
	病院線	峰山	河辺・上常吉	与謝の海病院	13.3	2	1,167
	病院線2	峰山	河辺・上常吉	与謝の海病院	14.7	5	3,809
	久美浜線	峰山中学校前	野中・友重	久美浜駅	23.6	10	8,013
久美浜線3	峰山駅前	野中・友重	久美浜駅	24.2	2	335	
延利線	峰山	大宮庁舎前	小町公園	18.3	2	1,763	
延利線2	峰山	大宮庁舎前	小町公園	18.9	7	6,431	
合計				311.1	98	68,432	
主な財源	府補 市町村運行確保生活路線維持費補助金 (1/2)					3,252千円	
評価・課題等	○地域における市民の貴重な移動手段として、既存のバス路線の運行を維持することができた。 ○乗車運賃の低額化（上限200円）に伴う好調な乗車人員の増加傾向（上限200円バス実証運行前に比べ約2.1倍）は継続しており、運行事業者の経費節減努力による運行維持費の減少とあわせて運行収支の改善がなされ、市が負担する補助金の低減が図られた。 ○バスは、鉄道の駅からの2次交通の役割も担っていることから、鉄道との接続の利便性の向上が求められており、改善を図る必要がある。						
事業所管課	企画総務部／企画政策課						

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	01バス運行対策事業																																			
細事業名	02 市営バス運行事業			決算書 P.98																																			
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保																																			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																																			
20,663千円		20,785千円	122千円	99.4%																																			
目的	生活交通路線の確保対策の一環として、民間バス会社と競合せず、生活交通路線として必要なバス路線の運行事業を実施する。																																						
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>過疎化の進行や車社会の浸透に伴う輸送人員の減少により、民間でのバス路線の維持が困難になっていることから、公共交通機関の維持確保が困難な地域における住民の移動手段を確保するため、生活交通路線として必要なバスの運行事業を行った。</p> <p>○運行路線・車両</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川上線 かわせみ号（29人乗り）</li> <li>・佐濃北線 やまばと号（15人乗り）</li> <li>・二区環状線 ほたる号（15人乗り）</li> <li>・弥栄延利線（10人乗り）</li> </ul> <p>○運行管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営バス運行委託料（弥栄路線分） 4,702千円</li> <li>・市営バス運行委託料（久美浜路線分） 8,885千円</li> <li>・車両等維持管理費（燃料費、修繕料、自動車重量税等） 4,319千円</li> <li>・佐濃北線車両購入費（15人乗り 1台） 2,394千円</li> <li>・運行諸費用（消耗品費、印刷製本費、保険料） 363千円</li> </ul> <p>○市営バス乗車人員 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>川上線</th> <th>佐濃北線</th> <th>二区環状線</th> <th>弥栄延利線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17年10月～H18年9月</td> <td>7,722</td> <td>3,705</td> <td>1,721</td> <td>2,067</td> </tr> <tr> <td>H18年10月～H19年9月</td> <td>6,539</td> <td>2,689</td> <td>1,483</td> <td>1,762</td> </tr> <tr> <td>H19年10月～H20年9月</td> <td>6,912</td> <td>3,217</td> <td>1,417</td> <td>1,631</td> </tr> <tr> <td>H20年10月～H21年9月</td> <td>7,371</td> <td>3,596</td> <td>3,055</td> <td>2,099</td> </tr> <tr> <td>H21年10月～H22年9月</td> <td>7,567</td> <td>3,506</td> <td>3,455</td> <td>2,713</td> </tr> <tr> <td>H22年10月～H23年9月</td> <td>7,874</td> <td>3,761</td> <td>3,996</td> <td>3,162</td> </tr> </tbody> </table>				期 間	川上線	佐濃北線	二区環状線	弥栄延利線	H17年10月～H18年9月	7,722	3,705	1,721	2,067	H18年10月～H19年9月	6,539	2,689	1,483	1,762	H19年10月～H20年9月	6,912	3,217	1,417	1,631	H20年10月～H21年9月	7,371	3,596	3,055	2,099	H21年10月～H22年9月	7,567	3,506	3,455	2,713	H22年10月～H23年9月	7,874	3,761	3,996	3,162
	期 間	川上線	佐濃北線	二区環状線	弥栄延利線																																		
H17年10月～H18年9月	7,722	3,705	1,721	2,067																																			
H18年10月～H19年9月	6,539	2,689	1,483	1,762																																			
H19年10月～H20年9月	6,912	3,217	1,417	1,631																																			
H20年10月～H21年9月	7,371	3,596	3,055	2,099																																			
H21年10月～H22年9月	7,567	3,506	3,455	2,713																																			
H22年10月～H23年9月	7,874	3,761	3,996	3,162																																			
主な財源	府補 市町村運行確保生活路線維持費補助金（1/2）			6,112千円																																			
	諸収入 市営バス運行収入			1,976千円																																			
	諸収入 市営バス回数券販売収入			304千円																																			
	市債 市営バス整備事業債（過疎対策債）			2,300千円																																			
	市債 過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）			4,200千円																																			
評価・課題等	<p>○バス路線の運行を継続することで、公共交通機関の維持確保が困難な地域における住民の移動手段を確保することができた。また、乗車運賃の低額化（上限200円）に伴い、市営バス全体としての利用者は着実に増加しており、バス輸送サービスが地域に浸透してきている。</p> <p>○一方で、運行の持続性を確保するための利用促進策や、空白地の解消に向けた運行の在り方などを検討する必要がある。</p>																																						
事業所管課	企画総務部／企画政策課																																						

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	02北近畿タノゴ鉄道利用促進対策事業
細事業名	01 北近畿タノゴ鉄道利用促進対策事業			決算書 P.98
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
123,972千円		124,054千円	82千円	99.9%
目的	北近畿タノゴ鉄道が行う安全運行等に係る経費を負担するとともに、市内各駅における利用者の減少に歯止めをかけ、利用を促進するための事業を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>北近畿タノゴ鉄道は、通勤・通学をはじめ地域住民の公共交通機関として幅広く利用されているが、人件費や施設・車輛の老朽化に伴う経費が相当必要であり、合理化と効率化が進められているものの、大阪直通特急列車の運行廃止の影響などから、厳しい経営を余儀なくされている。このため、北近畿タノゴ鉄道経営対策基金拠出金を拠出し、経営維持に努めるとともに、高齢者片道上限200円乗車社会実験等の利用促進事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北近畿タノゴ鉄道利用促進協議会負担金 70千円</li> <li>○北近畿タノゴ鉄道経営対策基金拠出金 114,031千円 経営支援のため京都府が設置している基金に積み立てる拠出金 (※平成23年度拠出金合計額〔他市町・府県拠出金の合計額〕819,556千円)</li> <li>○高齢者運転免許自主返納支援 460千円 70歳以上の運転免許証の返納者に対し、KTR全線定期券(3か月)を交付(23人)</li> <li>○「高齢者片道上限200円乗車」社会実験事業 2,660千円 平成23年6月18日～平成23年11月27日までの土日祝日の54日間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の市民が対象で、市内の各駅からKTRのどの駅まで乗っても片道上限200円乗車を実施。(乗車実績2,341人) KTR委託費 1,760千円</li> <li>・商工会の商品券事業と連携し、社会実験利用者に対してプレミアム商品券の割引購入特典をサービス。(販売実績615枚) 商工会事業補助金 900千円</li> </ul> 実績：KTR線区内の65歳以上利用者2.81倍(832人→2,341人) *前年同期間と比較</li> <li>○北近畿タノゴ鉄道沿線シバザクラ維持管理事業(網野町内) 150千円</li> <li>○KTR住民参加型シンポジウムの開催 69千円 (於：5月22日、丹後文化会館、約600人参加)</li> <li>○鉄道軌道輸送対策事業費補助金 6,506千円 鉄道事業の保安度の向上のため、必要な線路設備、信号設備等に要する経費を助成</li> <li>○その他消耗品 26千円</li> </ul>			
主な財源	府補 未来づくり交付金(北近畿タノゴ鉄道利用促進事業)			1,500千円
	諸収入 北近畿タノゴ鉄道ビッパ特急券販売手数料			181千円
評価・課題等	<p>○財政面及び利用促進面からの経営支援を実施し、北近畿タノゴ鉄道の運行維持に努めることができた。さらに、利用促進策により、高齢者向けの低額運賃社会実験の利用者が約3倍と一定の成果を得ることができ、さらなる広域的な取組へ弾みが付くものとなった。</p> <p>○車社会の進展や少子高齢化、さらには開業以来20年余りが経過する施設・車輛の老朽化など、北近畿タノゴ鉄道を取り巻く環境は大変厳しいが、重要な地域インフラとして存続させていくための継続した努力が必要である。</p>			
事業所管課	企画総務部/企画政策課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	02北近畿地方鉄道利用促進対策事業																																								
細事業名	02 駅舎等施設管理事業			決算書 P.98																																								
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保																																								
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																																								
37,707千円		37,849千円	142千円	99.6%																																								
目的	市内7駅の維持管理を行うとともに、甲山駅を除く6駅において乗車券類の発売を行うことにより、鉄道利用者の利便性の確保及び鉄道利用の促進を図る。																																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>鉄道利用者の利便性の確保及び鉄道利用の促進を図ることを目的に、市内7駅（丹後大宮駅、峰山駅、網野駅、木津温泉駅、丹後神野駅、甲山駅、久美浜駅）の駅舎の維持管理を行うとともに、有人駅において乗車券類の窓口発売を行った。</p> <p>○市内7駅維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（トイレトーパー、清掃用具、蛍光灯等） 414千円</li> <li>・燃料費（灯油代）、光熱水費（電気料金、水道料金） 4,969千円</li> <li>・修繕料（駅舎施設）、工事請負費（駅舎雨樋修繕等） 519千円</li> <li>・通信運搬費（電話料金） 397千円</li> <li>・手数料（し尿汲取等）、火災保険料（駅舎等） 154千円</li> <li>・駅舎維持管理委託料（施設清掃、機械警備等） 4,591千円</li> <li>・KTR乗車券類販売業務委託料（甲山駅を除く6駅） 25,443千円</li> <li>・土地借上料（駐輪場、駐車場、駅舎通路） 1,216千円</li> <li>・原材料費（駐車場補修用砕石） 4千円</li> </ul> <p>○市内各駅乗降者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>駅名</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丹後大宮駅</td> <td>47,960</td> <td>53,211</td> <td>54,350</td> <td>46,777</td> </tr> <tr> <td>峰山駅</td> <td>92,017</td> <td>89,453</td> <td>105,110</td> <td>112,807</td> </tr> <tr> <td>網野駅</td> <td>94,660</td> <td>93,325</td> <td>105,138</td> <td>94,005</td> </tr> <tr> <td>木津温泉駅</td> <td>45,312</td> <td>44,832</td> <td>55,656</td> <td>54,640</td> </tr> <tr> <td>丹後神野駅</td> <td>25,195</td> <td>26,089</td> <td>16,981</td> <td>22,598</td> </tr> <tr> <td>甲山駅</td> <td>56,694</td> <td>51,023</td> <td>47,957</td> <td>35,818</td> </tr> <tr> <td>久美浜駅</td> <td>42,250</td> <td>41,933</td> <td>39,324</td> <td>39,903</td> </tr> </tbody> </table>				駅名	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	丹後大宮駅	47,960	53,211	54,350	46,777	峰山駅	92,017	89,453	105,110	112,807	網野駅	94,660	93,325	105,138	94,005	木津温泉駅	45,312	44,832	55,656	54,640	丹後神野駅	25,195	26,089	16,981	22,598	甲山駅	56,694	51,023	47,957	35,818	久美浜駅	42,250	41,933	39,324	39,903
	駅名	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度																																							
丹後大宮駅	47,960	53,211	54,350	46,777																																								
峰山駅	92,017	89,453	105,110	112,807																																								
網野駅	94,660	93,325	105,138	94,005																																								
木津温泉駅	45,312	44,832	55,656	54,640																																								
丹後神野駅	25,195	26,089	16,981	22,598																																								
甲山駅	56,694	51,023	47,957	35,818																																								
久美浜駅	42,250	41,933	39,324	39,903																																								
主な財源	使用料 公有財産使用料 518千円 使用料 大宮駅ふれあいホール、峰山駅ギャラリーほか施設使用料 921千円 諸収入 丹後大宮駅、峰山駅ほか駅舎維持管理費負担金 924千円 諸収入 丹後大宮駅、峰山駅ほか乗車券類販売手数料 6,775千円 諸収入 久美浜駅及び丹後神野駅コインロッカー使用料、公衆電話料 47千円																																											
評価・課題等	<p>○駅舎の適正な維持管理及び乗車券類等の窓口発売を行い、「鉄道を利用しやすい環境」を整えることにより鉄道利用者の利便性を確保することができた。</p> <p>○駅によって利用の状況は様々であるため、それらの状況を十分に検証し、有人の必要性を含めた駅機能の在り方について検討する必要がある。その上で、利便性の向上に向けて観光案内や情報発信などの駅機能の充実を図る必要がある。</p>																																											
事業所管課	企画総務部／企画政策課																																											

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	03コウノトリ但馬空港利用促進事業											
細事業名	01 コウノトリ但馬空港利用促進事業			決算書 P.100											
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保											
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)											
530千円		540千円		10千円											
				執行率											
				98.1%											
目的	コウノトリ但馬空港の利用率を向上させることにより、東京国際空港との直行便の就航を実現し、もって本市の産業・福祉・文化等の活性化を図る。														
主要な事務・事業及び成果の概要	コウノトリ但馬空港から大阪国際空港（伊丹）で乗り継ぎ、東京国際空港（羽田）までの航空便を利用する市民等に対し、航空運賃の助成を行った。														
	<p>○コウノトリ但馬空港利用航空運賃助成事業費 530千円</p> <p>【内訳】 大人 4,000円× 82人＝ 328千円          小人 2,000円× 2人＝ 4千円          企画商品 2,000円× 99人＝ 198千円</p>														
	H23年度年間航空運賃助成数 延べ183件														
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H22
	大人	8	9	2	16	4	8	12	4	3	4	6	6	82	98
	小人	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7
	企画商品	0	14	2	28	0	12	26	2	0	2	2	11	99	147
	合計	10	23	4	44	4	20	38	6	3	6	8	17	183	252
	※企画商品（コウノトリ但馬空港から行く東京2日間・3日間） コウノトリ但馬空港から東京国際空港までの往復航空券とホテルでの宿泊（1泊又は2泊）をセットにした企画商品														
主な財源															
評価・課題等	○コウノトリ但馬空港から東京国際空港までの航空便利用を促進することによりコウノトリ但馬空港の利用率の向上に一定寄与した。 ○コウノトリ但馬空港から東京国際空港までの直行便就航の実現を図るために、引き続き豊岡市や但馬空港推進協議会などの関係機関と連携しながら、国や航空会社への要望活動や、より効果的かつ効果的な両空港間の航空便の利用促進策を進めていく必要がある。														
事業所管課	企画総務部／企画政策課														

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	50交通確保対策一般経費
細事業名	01 交通確保対策一般経費			決算書 P.100
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
315千円		366千円	51千円	86.0%
目的	公共交通関係業務に関する事務経費等			
主要な事務・事業及び成果の概要	公共交通利用促進策として、鉄道ダイヤの春の時刻表改正に伴い、分かりやすい運行情報を掲載したKTR運行ダイヤの早見表を作成した。			
	○KTR運行時刻早見表（壁掛け用） 23,000部、A2版、2色カラー 平成24年3月17日発行	215千円		
	○その他旅費等	100千円		
主な財源				
評価・課題等	○分かりやすい運行情報の提供を行うことで、公共交通の利用促進に寄与した。 ○今後もより分かりやすい時刻表の発行に努める必要がある。			
事業所管課	企画総務部／企画政策課			

予算科目	O2総務費	O1総務管理費	11交通安全対策費	O1市営駐車場管理事業	
細事業名	O1 市営駐車場管理事業			決算書 P.96	
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
1,981千円		2,160千円	179千円	91.7%	
目的	市への来訪者及び地域住民の便宜を図るとともに、道路駐車を防ぐことにより、道路機能を確保するなど、市内の交通秩序を保持するため、市営駐車場の適切な管理を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駐車場賃貸料（千歳、杉ノ木、上近江） 1,694千円</li> <li>○駐車場照明電気代（千歳、上近江、杉ノ木、峰小前） 148千円</li> <li>○駐車場トイレ維持管理経費（千歳—清掃委託、し尿汲み取り） 107千円</li> <li>○駐車場維持管理原材料経費（千歳—真砂土・簡易アスファルト） 11千円</li> <li>○駐車場看板修理費（千歳、上近江、峰小前） 21千円</li> </ul>				
	市営駐車場一覧（11か所）				
	No.	名称	位置	駐車場規模	所有者別
	1	千歳駐車場	峰山町千歳213ほか	1,452㎡・56台	民地賃貸地
	2	杉ノ木駐車場	峰山町杉谷978	461㎡・22台	民地賃貸地
	3	上近江駐車場	峰山町杉谷813ほか	1,006㎡・35台	民地賃貸地
	4	峰山小学校前駐車場	峰山町吉原62-11	560㎡・24台	市有地
	5	峰山駅前駐車場	峰山町丹波811-4	509㎡・22台	KTR所有地
	6	峰山駅東口駐車場	峰山町丹波825-3	354㎡・14台	市有地
	7	網野駅前駐車場	網野町下岡126-2	301㎡・45台	KTR所有地
8	木津温泉駅前駐車場	網野町木津800-1	610㎡・16台	KTR所有地	
9	土居駐車場	久美浜町3118-2	505㎡・17台	市有地	
10	久美浜駅前第1駐車場	久美浜町785-6	255㎡・13台	市有地	
11	久美浜駅前第2駐車場	久美浜町826-3	684㎡・17台	市有地	
				(京丹後市市営駐車場条例)	
主な財源					
評価・課題等	<p>○市営駐車場を適切に管理するため、千歳駐車場のトイレ清掃、穴ぼこ、アスファルトのめくれの修理をした。また、私的な常時利用が見受けられる千歳、上近江、峰山小学校前の駐車場において、看板を設置して常時駐車禁止の周知を行った。</p> <p>○特に常時駐車が見受けられる市営駐車場は、利用状況や地元区の意向を十分に調査し、公の施設の今後の在り方について検討する必要がある。</p>				
事業所管課	市民部／市民協働課				